

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 16 年 12 月 9 日 (2004.12.9)

【公開番号】特開 2000-292625 (P2000-292625A)

【公開日】平成 12 年 10 月 20 日 (2000.10.20)

【出願番号】特願 平 11-99136

【国際特許分類第 7 版】

G 0 2 B 6/00

G 0 2 B 6/08

【F I】

G 0 2 B 6/00 3 4 6

G 0 2 B 6/00 3 3 4

G 0 2 B 6/08

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 12 月 24 日 (2003.12.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の棒状光伝送体が 2 枚の基板間に 1 層もしくは 2 層以上に平行配列され挟着された構造を有する光伝送体アレイ原板を平板上に固定し、該光伝送体アレイ原板の表面に溝を削り込み、この溝部において光伝送体アレイ原板を割断する工程を有することを特徴とする光伝送体アレイの製造方法。

【請求項 2】

前記光伝送体アレイ原板の一方の基板表面から、その基板および棒状光伝送体を通過し他方の基板に達する深さの溝を削り込むことを特徴とする請求項 1 記載の光伝送体アレイの製造方法。

【請求項 3】

前記光伝送体アレイ原板の両基板表面からそれぞれ、該光伝送体アレイ原板の厚さの 30 % 以上 50 % 未満の深さの溝を削り込むことを特徴とする請求項 1 記載の光伝送体アレイの製造方法。

【請求項 4】

前記溝を削り込む際、前記光伝送体アレイ原板は前記平板に吸引吸着により固定されている請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の光伝送体アレイの製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

【課題を解決するための手段】

本発明は、複数の棒状光伝送体が 2 枚の基板間に 1 層もしくは 2 層以上に平行配列され挟着された構造を有する光伝送体アレイ原板を平板上に固定し、該光伝送体アレイ原板の表面に溝を削り込み、この溝部において光伝送体アレイ原板を割断する工程を有することを特徴とする光伝送体アレイの製造方法に関する。